

社会福祉法人

みのり会だより

発行：2016年9月

社会福祉法人みのり会
〒216-0006

川崎市宮前区宮前平1-8-12

TEL044(855)9455・FAX(855)9454

まじわーる宮前が完成しました



平成25年5月に川崎市より『宮前地区障害福祉サービス事業所等設置運営法人等の選定結果について』という通知をいただき、当みのり会が設置運営法人として選定されてから2年半あまりがたち、ようやく平成27年12月に工事が完了いたしました。

12月26日の開所式には川崎市長様をはじめ川崎市議会議長、近隣の自治会長様、市内の社会福祉法人理事長様、施設長様、特別支援学校校長先生等々170名の方々にお越しいただき、盛大に執り行うことができました。翌年1月には「生活介護 あーる工房」が引越し本格的に始動しました。

建設にあたりましては、設計監理会社、建設会社、川崎市担当課、宮前区担当課と合同の定例総合会議を実施しました。また、みのり会内部においても検討委員会を発足し、各事業所の職員や外部からも専門職の方に参加していただき、建物の設計段階から検討を重ね、建物内部や事業展開に係る内容を討議してきました。建物の総称である『まじわーる宮前』はこれらの検討会で誕生したものです。ちょうど馬絹の交差点に位置し、道が交わる場所にて、障がいのあるかたもない方も共に理解を深め、『まじわーる』場となることを目指しています。

長期にわたる建設に、近隣の方には快くご協力を賜り、改めて感謝申し上げます。しかし、これからが始まりです。地域の交流の場である宮前地区会館と障がい福祉拠点施設の合築も初めてのこころみです。今後も地域の皆様に大いに活用される『まじわーる宮前』となるよう努力してまいります。

平成27年度 社会福祉法人みのり会事業報告

障がいのある人たちの権利擁護に努めてきたみのり会にとって、平成27年は忘れることのできない、忘れてはならない不名誉な一年でした。グループホームサービス管理者による利用者様の衣料購入のための仮払金を長期間所持していたことが11月に発覚したことに端を発し、法人事務局として調査する中で、利用者預り金の横領や職員、利用者様のご家族からの借金など問題が明らかになりました。

川崎市からの指示に従い、第三者を含めた調査委員会において、横領の事実及び関連事項の調査を行い、3月には被害額を確定し、報告書を提出いたしました。同時に再発防止にむけて検討を行い、利用者預り金システムの再構築をおこないました。また、職員に対し人権擁護研修を開催し、組織強化に努めました。

事務の部門では、あーる工房の開設に伴い、経理事務が円滑に行われるよう、事務の役割分担を明確にしました。また、新会計基準への移行を行い、新たな基準での初めての決算処理を行いました。労務管理の面でも、グループホームの勤務を宿直から夜勤へ転換をはかってきました。事業所数が増え、職員の働き方も多様化してきており、11月より社会保険労務士と業務委託契約を取り交しました。

念願だった、セルプ宮前こぼとに隣接した駐車場の購入が10月に実現しました。長い年月家族会から寄せられた駐車場購入のための寄付額は845万円になり、後援会からの寄付金や積立金と合わせて融資を受けずに購入することができました。

今後、グループホームの夜勤体制の確立、短期入所などの新規事業の開始などを見据え、人材確保に努めます。また定期的な人事異動や職制の確立、資格の取得などをすすめ、組織強化をはかります。

*** 各事業所報告 ***

生活介護 セルフ宮前こぼと (定員36名)

36名定員で3月末時点では38名の方にご利用いただいています。今年度も嘱託医、看護師、作業療法士など専門職の指導を受け、利用者様の心身の健康管理の充実に努めました。5月に創立24年目を迎えました。建物の改修工事や備品の買換えを行いました。

音楽や絵画など創作的な活動の充実に努めてきました。特に絵画活動ではカレンダーや缶バッチなど自主製品へ反映し、生産活動も広がってきました。また、宮前区役所や城南信用金庫など地域に作品を展示する機会を増やすことができました。

生活介護 分場旬彩厨房じんべい (定員12名)

12名定員で14名の方にご利用いただいています。『地域活動支援センター宮前ブロッサム』と統合し、定員20名以上の生活介護事業所として独立できるよう、準備をすすめています。生産活動として、惣菜、お弁当の製造を引き続き行っています。

生活介護 あーる工房 (定員20名)

4月より仮設の宮前地区会館を間借りした部屋とマンションを1室借りて20名定員、現員22名にご利用いただきました。社会福祉法人ともかわさき『みずき』から14名の方が移行されました。ともかわさきの法人、職員の皆様からのご支援もあり、スムーズな移行をはたすことができました。

1月12日から『まじわーる宮前』での活動を開始しました。利用者様やご家族を対象に見学会を実施しました。給食や日常的な介護など個々のご要望を伺い、新しい活動場所で支障が出ないよう、配慮しました。



各事業所報告



グループホーム宮前こぼとの家

27年度3月末現在、8カ所の共同生活住居に現員35名(定員41名、1カ所休止中)にご利用いただいています。

グループホーム職員による利用者預り金の横領事件について、改めてお詫び申し上げます。全容解明に努めるとともに、金銭管理システムを根本から見直しをはかり、二度と繰り返すことがないように、システムを改め、信頼の回復に努めていきます。

日常生活に必要な物品購入、散髪、ご家族との面会、ご自宅への帰省、ヘルパー活動の調整など、また医療面の支援(通院、入院時の支援)と、ご家族の支援がままならない利用者様が多くなり、その役割をホームで担う割合が高くなってきています。個別に特別な配慮が必要な場合が多く、各事業所や世話人、ヘルパーと綿密に連携をとるよう努めました。

夜勤体制を完全に確立するため、さらに人員確保に努めていきます。

地域相談支援センター ポポラス

川崎市の委託型相談支援事業所としての一般相談の他、計画相談支援、地域相談支援、障害児相談支援を実施しています。

法律の改正により、障害福祉サービス等を利用する方は『サービス等利用計画』の作成が必要になり、非常勤職員の勤務を増やし対応にあたりました。



救急法の職員合同研修の様子

ヘルパーステーションらいむらいと

介護給付事業(居宅介護、通院介助、行動援護)と地域生活支援事業(移動支援)、個別契約によるサービスを提供してきました。

契約利用者様は33名、登録ヘルパーの確保が困難で15名にとどまりました。契約通りのサービスの提供がなかなかできない状況でした。事業所として赤字を出さないよう、サービス提供責任者をグループホーム兼任とし、通院支援等にあたりました。

～ 苦情解決の取り組み ～

サービスの向上と人権擁護の意識向上をめざし、『苦情解決の規則』に基づく第三者委員活動は毎月1回開催するよう努めました。

今年度は4名の第三者委員がのべ119名のご相談をお受けしました。

施設やサービスに対する苦情はありませんでしたが、3月には『苦情解決第三者委員のまとめ』として全職員が参加し、第三者委員の相談活動の中から職員のあるべき姿勢についてお話を伺いました。

セルフ宮前こぼとは川崎市障害福祉施設事業協会の苦情解決にも加盟し、苦情解決協力委員にもご相談を受けていただきました。

地域活動支援センター パン工房ひよこ (定員10名)

開所して16年目となり、パン製造販売の生産活動だけでなく、日常的な介護が必要になったり、作業に取り組めない利用者様もでてきて、生活介護事業所への移行の方向性を数年前から検討していました。

9月に川崎市よりあーる工房への統合が条件付きで了承され、準備を開始し、3月末にて事業を廃止することとなりました。

家族会や個別面談で丁寧に説明し、生活介護へのスムーズな移行を目指しました。

地域活動支援センター 宮前フロッサム (定員15名)

旬彩厨房じんべいと統合し、生活介護事業所への移行するため、職員体制も大きく変更し、移行のための準備をすすめました。

在籍者は13名でした。送迎支援等を強化してきましたが、実質の通所人数は10名程度にとどまりました。

これまで大きな収入源だった作業を打ち切り、自主製品の開発や受託作業の開拓に努めてきました。新たに習字を始めるなど文化的な活動も積極的に取り組みました。

手をつなぐフェスティバルでも作品を展示しました。



地域活動支援センター 陽だまり (定員 6名)

小規模ゆえの利点を十分生かしながら、利用者様おひとりお一人を大切に介護に努めました。

特に健康管理には細心の注意を払いながら、体力、筋力低下を防ぐため、ウォーキングやストレッチ体操、電動サイクル運動器などに取り組みました。

創作活動やおやつ作りなど、利用者様の達成感や満足感を大切に活動に取り組みました。

お礼

共同募金の配分金を頂き、セルフ宮前こぼと分場旬彩厨房じんべい、グループホーム宮前こぼとの家(菅生こぼとの家)、地域活動支援センターパン工房ひよこ、宮前フロッサムにて、送迎や生産活動の納品などに使用する車両を購入いたしました。

また、あーる工房では株式会社インフォサイエンス社様と公益財団法人日本財団様から車両のご寄付をいただきました。

愛ちゃん と 希望くん



平成27年度 社会福祉法人みのり会 決算報告

貸借対照表 平成28年3月31日現在

(単位：円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	265,825,848	0	265,825,848	流動負債	66,520,832	0	66,520,832
				固定負債	168,990,850	0	168,990,850
				負債の部合計	235,511,682	0	235,511,682
固定資産	1,724,970,138	0	1,724,970,138	純資産の部			
基本財産	1,272,425,389	0	1,272,425,389	基本金	61,535,298	0	61,535,298
その他の固定資産	452,544,749	0	452,544,749	国庫補助金等特別積立金	1,023,429,388	0	1,023,429,388
				その他の積立金	302,444,000	0	302,444,000
				次期繰越活動増減差額	367,875,618	0	367,875,618
資産の部合計	1,990,795,986	0	1,990,795,986	純資産の部合計	1,755,284,304	0	1,755,284,304
				負債及び純資産の部合計	1,990,795,986	0	1,990,795,986

脚注

減価償却の累計額 267,213,222
徴収不能引当金の額 0

注記

基本財産の増減

財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期末残高
土地	22,106,200	46,993,600	69,099,800
建物	140,777,497	1,062,548,092	1,203,325,589
合計	162,883,697	1,109,541,692	1,272,425,389

重要な後発事項

28年3月31日をもって、パン工房ひよこ拠点区分の閉鎖
28年4月1日より、あーる工房拠点区分から、まじわる宮前拠点区分へ変更。同拠点内に、あーる工房・きまっしーサービス区分の開設

その他

新会計基準への移行初年度により、貸借対照表・事業活動計算書に前年度決算額は記載していない。

担保に供されている資産

建物（基本財産） 1,067,666,333

担保している債務の種類・金額

設備資金借入金 158,749,000

事業活動計算書

(自) 平成27年4月1日 (至) 平成28年3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算	前年度決算	増減	
サービス活動増減の部	障害福祉サービス等事業収益	456,274,269	0	456,274,269	
	経常経費寄附金収益	3,616,925	0	3,616,925	
	サービス活動収益計(1)	459,891,194	0	459,891,194	
	人件費	274,655,693	0	274,655,693	
	事業費	51,869,793	0	51,869,793	
	事務費	54,471,919	0	54,471,919	
	生産活動費用	24,026,091	0	24,026,091	
	減価償却費	28,235,610	0	28,235,610	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 15,639,809	0	△ 15,639,809	
	サービス活動費用計(2)	417,619,297	0	417,619,297	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	42,271,897	0	42,271,897	
	サービス活動外増減の部	借入金利息補助金収益	2,172,681	0	2,172,681
		受取利息配当金収益	142,143	0	142,143
その他のサービス活動外収益		7,703,140	0	7,703,140	
サービス活動外収益計(4)		10,017,964	0	10,017,964	
支払利息		2,172,681	0	2,172,681	
その他のサービス活動外費用		4,262,077	0	4,262,077	
サービス活動外費用計(5)		6,434,758	0	6,434,758	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	3,583,206	0	3,583,206		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	45,855,103	0	45,855,103		
特別増減の部	施設整備等補助金収益	764,460,572	0	764,460,572	
	施設整備等寄附金収益	3,000,000	0	3,000,000	
	固定資産売却益	329,347	0	329,347	
	その他の特別収益	50,090,550	0	50,090,550	
	特別収益計(8)	817,880,469	0	817,880,469	
	固定資産売却損・処分損	4,080,923	0	4,080,923	
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除)	△ 2,754,734	0	△ 2,754,734	
	国庫補助金等特別積立金積立額	907,332,572	0	907,332,572	
	その他の特別損失	23,262,700	0	23,262,700	
	特別費用計(9)	931,921,461	0	931,921,461	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 114,040,992	0	△ 114,040,992		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 68,185,889	0	△ 68,185,889		

【繰越活動増減差額の部】	前期繰越活動増減差額(12)	418,039,970	0	418,039,970
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	349,854,081	0	349,854,081
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	18,451,537	0	18,451,537
	その他の積立金積立額(16)	430,000	0	430,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	367,875,618	0	367,875,618

資金収支計算書

(自) 平成27年4月1日 (至) 平成28年3月31日

(単位：円)

勘定科目		予 算	決 算	差 異
【事業活動による収支】	障害福祉サービス等事業収入	465,948,312	456,274,269	△ 9,674,043
	借入金利息補助金収入	2,172,681	2,172,681	0
	経常経費寄附金収入	3,190,000	3,616,925	426,925
	受取利息配当金収入	120,800	142,143	21,343
	その他の収入	7,266,500	7,703,140	436,640
	事業活動収入計(1)	478,698,293	469,909,158	△ 8,789,135
	人件費支出	278,760,553	271,873,173	6,887,380
	事業費支出	63,744,798	51,869,793	11,875,005
	事務費支出	60,309,267	54,471,919	5,837,348
	生産活動支出	25,070,000	23,577,070	1,492,930
	支払利息支出	2,172,681	2,172,681	0
	その他の支出	5,136,600	4,262,077	874,523
事業活動支出計(2)	435,193,899	408,226,713	26,967,186	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	43,504,394	61,682,445	18,178,051	
【施設整備等による収支】	施設整備等補助金収入	763,201,000	764,460,572	1,259,572
	施設整備等寄附金収入	3,000,000	3,000,000	0
	設備資金借入金収入	77,400,000	77,400,000	0
	固定資産売却収入	415,630	429,350	13,720
	施設整備等収入計(4)	844,016,630	845,289,922	1,273,292
	設備資金借入金元金償還支出	7,179,000	7,179,000	0
	固定資産取得支出	938,907,257	938,634,667	272,590
	その他の施設整備等による支出	432,000	432,000	0
施設整備等支出計(5)	946,518,257	946,245,667	272,590	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 102,501,627	△ 100,955,745	1,545,882	
【その他の活動による収支】	積立資産取崩収入	19,857,277	18,843,557	△ 1,013,720
	拠点区分間繰入金収入	83,458,300	0	△ 83,458,300
	その他の活動収入計(7)	103,315,577	18,843,557	△ 84,472,020
	積立資産支出	3,423,550	3,752,960	△ 329,410
	拠点区分間繰入金支出	83,464,300	0	83,464,300
	その他の活動支出計(8)	86,887,850	3,752,960	83,134,890
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	16,427,727	15,090,597	△ 1,337,130	
予備費支出(10)	7,130,494			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 49,700,000	△ 24,182,703	25,517,297	
【資金残高】				
前期末支払資金残高(12)		235,292,622	235,292,622	
当期末支払資金残高(11)+(12)	△ 49,700,000	211,109,919	260,809,919	